

PC建築部会長

宍戸 宏

株式会社建研
代表取締役社長



2020年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様方には、平素よりPC建築部会の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は一昨年に続き、台風・豪雨による風害・水害・土砂災害が多数あり、風害によって送電線や配電線が切断され、多くの事業所や家庭で停電を余儀なくされました。豪雨による土砂災害によって交通網が寸断され、一時的に陸の孤島になった地域もありました。また、台風が何度も上陸し河川の増水・氾濫、堤防の決壊などで大規模な水害が発生しました。今までになく広範囲で、数多くの甚大な自然災害が次々に起こりました。改めて日本は災害立国であることを痛感するとともに、既存のインフラの老朽化が進んでいるなかで、インフラ整備の強化の必要性、治水の重要性を再認識した一年でありました。

このような中で、建設業界・PC業界が担う社会への貢献・役割について、真摯に考える機会になりました。PC建築部会として、建設を通して社会に貢献できる活動は何か、各会員の方々と十分な協議ができる体制を、今年は整えていきたいと思っております。

今年開催される東京オリンピック・パラリンピックの整備は、ほぼ終了しました。首都圏における建設需要は今後、渋谷地区再開発事業や新駅開業に伴う品川再開発等、多くの再開発事業に移行していきます。首都圏以外においても、大阪梅田地区再開発、福岡の博多・天神エリア再開発等があります。また、老朽化したインフラの更新・整備による建設需要も底堅いものがあります。首都圏・大都市圏においては、オフィス賃料の上昇や空室率の低下などによって、建設環境はまだ明るい状況にあります。ただ分譲マンション需要については、陰りが見られてきています。

大都市圏と人口減が止まらない地方圏との経済格差は益々進み、大きな二極化になっています。建設業界としては、今後も厳しい環境が全国的に続くものと思っておりますが、大型インフラプロジェクトであるリニア中央新幹線、北陸新幹線

の延伸、大阪万博の開催等の波及効果が、建設需要の増加につながる事が期待されています

このような中で建設業界を取り巻く環境は、人手不足・熟練工の高齢化など毎年厳しくなっています。併せて、政府による働き方改革への取り組みもあり、多くの課題を抱えています。

建設業界における問題解決の一つとして、建築物のPC化があります。PC化によって、人手不足や熟練工の高齢化への対策が可能になります。直近の状況として壁式PC工法やラーメン式PC工法による中高層共同住宅の建設があり、一般建築でのPC化など適用範囲が大変大きくなってきております。このような環境の中で、プレキャストコンクリート部材へのニーズの高まりがあります。お客様からのプレキャストコンクリート部材への、信用・信頼を確保するために、PC建築部会においては今年も「PC部材品質認定事業」「PC構造審査事業」「PC工法施工管理技術者資格認定事業」「PC部材製造管理技術者資格認定事業」の4つの事業を強化・継続して参ります。

今年も各方面の方々に、在来工法に対するPC工法の優位性・多様性・特徴を説明していきます。特に、工場で製造されたプレキャストコンクリート部材の品質の高さをPRし、PC建築のさらなる発展・普及を目指して活動して参ります。今後とも、皆様方の格別の御指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の社業の益々の発展と、今年一年の皆様方のご健康、ご多幸を心より願ひまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。